

BST 歴 6 年 重症アトピー性皮膚炎をバチルス入浴療法で改善し待望の子宝にも恵まれ 専用浴室もバッチリ

2 8 歳 女性 入院 2007.6.16~10.14 2008.6.14~6.22 2 回の入院

生後すぐにアトピーが発症。学童期は四肢関節部に慢性的に生じ近医にてステロイド外用治療 高校時代から全身に生じた 水治療 酸性水塗布で改善したが2年で再燃 22歳で全身性に生じステロイド外用を始めた、27歳で結婚 妊娠希望があり 非ステロイド 漢方治療を受けていたがコントロール不良 5ヶ月前から全身の発赤 掻痒 滲出性の強度のアトピー性皮膚炎が生じ日常生活も困難となり 2007.6.16~10.14 当院入院 IgE は 50000 と高く入院後も炎症の再燃を繰り返し、入院期間は5ヶ月になったがバチルス入浴にてアトピー性皮膚炎は非常に改善して退院。退院後バチルス入浴療法行わず2ヶ月で皮膚炎が再燃、自宅でバチルス入浴療法を開始し改善 2008.6.14~6.22 花粉で悪化し短期入院 2009 年からは普通肌になり薬は全く不要になった。新築の際、浴室を別棟として作った。(写真下) 軽度好酸球上昇しているがアトピー性皮膚炎は生じなくなかった。冷え症も改善し待望の子宝にも恵まれた。2010.2 にはバチルス入浴療法を一旦中止したがその後やや悪化 2010.12 再開したがその後は水質管理ができず中等度のアトピー性皮膚炎のまま経過、2013.6 に循環装置 bacillus SPA24 を導入し水質が安定、皮膚炎も軽快した。以前は自宅で浴水を管理する場合しばしば水質が悪化しアトピー性皮膚炎のコントロールが悪くなっていた。専用の循環装置ができてから水質管理が容易になった。

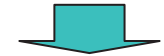
	正常値	2007.5.19	7.17	8..20	9.10	10.12	12.19	2008.5.2	2009.5.30	2010.4.10	2011.10.1	2012.11	2013.11
TARC	450 以下								162	407 ↑	4460 ↑	2841	
LDH	120~245	470	287 ↓	222 ↓	466 ↑	267 ↓	315 ↑	229 ↓	169 ↓	169 ↓	307 ↑	261	163
IgE	170 以下	54438	37275 ↓	32456 ↓	27085 ↓	21907 ↓	29480 ↑	17234 ↓	7145 ↓	7865 ↑	16537 ↑	17001	
好酸球	7%以下	35	0.5 ↓	4.6	51 ↑	19.3 ↓	26 ↑	17.1 ↓	3.0 ↓	13.7 ↑	14.1	20 ↑	6.8



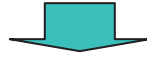
バチルス入浴療法のために新たに別棟の浴室を作った。



2007.6.16



2009..5.30



2013.11.9